

令和8年1月27日



中小企業技術振興課
直 通：092-643-3433
内 線：3727、3725
担 当：池田、石川

流体機械計測評価支援システムのオープニングセミナーを開催

～大空間用レーザースキャナーを九州の公設試として初導入～

県工業技術センターでは、(公財) JKAの補助を受け導入した「流体機械計測評価支援システム」のオープニングセミナーを開催します。

本設備は、流体機械^{※1}や空調機器のCAE^{※2}に必要となる大空間形状のデジタル化や物体周りで生じる流れや音の可視化を行うシステムであり、設計最適化や性能評価に活用できます。

県工業技術センターでは、本設備の活用によりデジタル化支援を強化し、県内企業の製品の高付加価値化、開発期間短縮に貢献していきます。

※1 … ファン、送風機、ポンプなど、空気や水などの流体のエネルギーを利用・変換する機械。

※2 … Computer Aided Engineering の略。コンピュータ上でシミュレーションを行って性能評価を行う設計支援技術。試作品の製作と実験を減らし、コスト削減や開発期間短縮が可能。

1 日時・場所

令和8年2月17日（火） 13：00～16：30

2 場所

機械電子研究所 2階 研修室（北九州市八幡西区則松3-6-1）

3 内容

(1)導入設備（流体計測評価支援システム）の概要	工業技術センター職員
(2)レーザースキャナーによる3Dデジタルモデルの活用	ファロージャパン(株)
(3)製品開発における風洞設備の役割	(株)日本風洞製作所
(4)PIV（粒子画像流速測定法）による流れに可視化測定	西華デザインイメージ(株)
(5)音源探査による音の見える化	九州リオン(株)
(6)ひずみ測定技術の基礎	(株)東京測器研究所
(7)装置見学及び装置デモ(16：05～)	

4 参加費 ※申し込み方法については別紙をご参照ください。

無料

5 セミナー案内ページ

https://www.fitc.pref.fukuoka.jp/jinzai-ikusei/post_69.php



流体機械計測評価支援システムについて

本設備は、流体機械^{※1}や空調機器のCAE^{※2}に必要となる大空間形状のデジタル化や物体周りで生じる流れや音の可視化を行うシステムであり、設計最適化や性能評価に利用することができます。

※1 ファン、送風機、ポンプなど、空気や水などの流体のエネルギーを利用・変換する機械。

※2 Computer Aided Engineering の略。コンピュータ上でシミュレーションを行って性能評価を行う設計支援技術。試作品の製作と実験を減らし、コスト削減や開発期間短縮が可能。



図 流体機械計測評価支援システム

本システムの主な構成機器

設備・機器名	用途・効果
大空間用レーザースキャナー 【九州公設試初】	レーザー光を物体に照射して反射光の特性から対象物の距離や形状を測定。スキャン範囲が広範囲な100mのものを導入し、大型アリーナや工場等の大空間の形状測定が可能
高出力レーザー 【九州公設試初】	大空間の空気の流れを可視化するために、広範囲を照射する高出力のレーザー。煙などの流れに追随する粒子をレーザーで光らせ、空気の流れを可視化
小型風洞 【九州公設試初】	人工的に空気の流れを発生させ、物体に働く力や周囲の空気の動きを測定するための装置
音源探査装置	複数のマイク（導入設備は128本）で収録したデータを解析して、騒音源の音の分布をカラーマップで可視化

★ 問い合わせ先・取材申し込み先

本イベントの取材を希望する場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 機械技術課 担当：山本、吉村

TEL：093-691-0260 FAX：093-691-0252 E-mail：yamamoto-k5099@fitc.pref.fukuoka.jp

(公財) JKA補助 新規導入備品 技術講演会

流体機械計測評価支援システム オープニングセミナー

機械電子研究所では、物体周りで生じる流れや音を可視化するとともに、大空間の形状を測定し、デジタル化する「流体機械計測評価支援システム」を導入しました。本セミナーでは、新規導入設備のご紹介とその活用方法について説明します。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 令和8年2月17日(火) 13:00~16:30

当日受付 12:30開始

参 加 費
無 料

会 場 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 研修室

(福岡県北九州市八幡西区則松3丁目6-1)

定 員 会場40名(先着)、オンライン40名

※資料の配布は会場のみとなります。オンライン参加の方への配布はできませんのでご了承ください。

プログラム

- 新規導入設備の概要**(13:05~13:20)
- レーザースキャナーによる3Dデジタルモデルの活用**(13:20~13:50)
ファロージャパン(株) AEC Account Manager 坂井 寛之 氏
- 製品開発における風洞設備の役割**(13:50~14:20)
(株)日本風洞製作所 営業統括 ローンジョシュア 氏
- PIV(粒子画像流速測定法)による流れの可視化測定**(14:20~14:50)
西華デジタルイメージ(株) 計測グループ 燃焼流体チーム リーダー 鹿島 桂司 氏
- 音源探査による音の見える化**(15:00~15:30)
九州リオン(株) 計測器営業部 北九州営業所 所長 安楽 和也 氏
- ひずみ測定技術の基礎**(15:30~16:00)
(株)東京測器研究所 福岡営業所 課長代理 中島 雄太郎 氏
- 新規設備のデモと見学(会場参加者のみ)**(16:05~16:30)



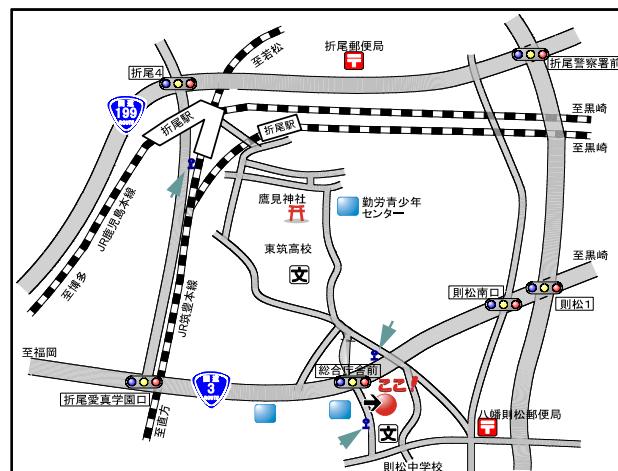
流体機械計測評価支援システム

会場ご案内

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 第2会議室
〒807-0831 福岡県北九州市八幡西区則松3丁目6-1

申込方法

参加申込書または、メールの本文に必要事項をご記入の上、下記宛先までE-mailまたはFAXでご連絡ください。
参加は無料です。締切は令和8年2月13日(金)といたします。



申込・問合せ先

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 機械技術課（担当：山本）

☎ 093-691-0260 / FAX: 093-691-0252
✉ yamamoto-k5099@fitc.pref.fukuoka.jp

備考：お申し込み頂いた個人情報については、セミナー内容向上のため、講師と共有させていただきます。
これらの個人情報は適切な安全対策のもと管理し、原則として同意なく第三者へ開示・提供いたしません。

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 機械技術課
山本宛 (FAX: 093-691-0252)

参加申込書

令和8年2月17日開催の「流体機械計測評価支援システム オープニングセミナー」に参加します。

申込日(記入日)			
氏名			
会社名・所属機関名			
部署名・役職名			
所在地			
TEL・FAX			
E-mail			
参加方法	現地	or	オンライン

別添

■ (公財)JKA 競輪・オートレースの補助事業について

「流体機械計測評価支援システム」は、(公財)JKA の競輪・オートレースの補助事業「2025 年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」の補助を受け導入しました。

・(公財)JKA について

<u>設立</u>	2007年8月23日
<u>職員数</u>	616名(2025年7月1日現在)
<u>主な業務内容</u>	競輪とオートレースの選手・審判員や、自転車・小型自動車の登録、競輪とオートレースの実施方法の制定、選手の出場あっせん、養成・訓練を行うほか、自転車・小型自動車等機械工業の振興、体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に対する補助等

・競輪・オートレースの補助事業

(1)補助の対象者

普通地方公共団体、地方独立行政法人等の公共的な法人

(2)対象となる事業

①機械設備拡充事業、②人材育成に資する事業、③公設試が主体的に取組む共同研究

(3)補助金上限額

補助率 2/3、補助金上限額は表の通り

①機械設備拡充事業	5,000 万円※
②人材育成に資する事業	400 万円
③公設試が主体的に取組む共同研究	300 万円

※1 機器あたりの上限金額は 3,000 万円

・詳細は以下のリンク先、2次元コードからご参照ください。

(公財)JKA

<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

競輪・オートレースの補助事業 公設工業試験研究所

https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/shinsei_kikai_kousetsu.html



(公財)JKA

競輪・オートレースの補助事業 公設工業試験研究所